



## 中体連優勝!!金武中学校女子テニス部

### 主な内容

平成17年度当初予算 .....	2 p
山火事に対する抗議決議 .....	3 p
都市型訓練施設の暫定使用に対する抗議決議 .....	4 p
一般質問 .....	5～11p
神里 幸雄    東 寛治    前田 修    山城 清盛    宜野座 栄    仲間 清	
外間 現一郎    知名 達也    伊藝 武吉    仲間 政治    嘉数 義光    小波津 隆	
第3回議案処理結果 .....	11p
お知らせ .....	12p

# 第3回 定例会

(3月10日～3月25日)

## 平成17年度 予算可決 一般会計 61億4,241万2千円

平成17年3月10日に招集された第3回定例会は、議案29件、承認1件、決議1件をそれぞれ審議し、一般質問は12名が登壇した。

本定例会は予算議会のため、議長を除く全議員による予算審査特別委員会が設置され、各議案に対し議論を交わし3月25日の本会議にて可決、成立した。

### 一般会計 歳入・歳出の内訳

歳 出				歳 入			
	科 目	金 額	構成比	事 項	金 額	構成比	対前年比
		千円	%		千円	%	%
目 的 別	1款 議会費	124,196	2.02	1款 町税	869,093	14.15	5.33
	2款 総務費	1,992,993	32.45	2款 地方譲与税	89,522	1.46	32.81
	3款 民生費	1,182,224	19.25	3款 利子割交付金	1,531	0.02	△22.09
	4款 衛生費	473,396	7.71	4款 配当割交付金	452	0.01	180.75
	5款 労働費	16,690	0.27	5款 株式等譲渡所得割交付金	74	0.00	1.37
	6款 農林水産業費	475,447	7.74	7款 地方消費税交付金	72,159	1.17	2.32
	7款 商工費	24,860	0.40	8款 自動車取得税交付金	15,048	0.24	11.54
	8款 土木費	245,201	3.99	9款 国有提供施設等所在市町村助成交付金	168,178	2.74	3.71
	9款 消防費	200,925	3.27	10款 施設等所在市町村調整交付金	277,969	4.53	2.16
	10款 教育費	739,182	12.03	11款 地方特例交付金	17,065	0.28	2.63
	11款 災害復旧費	10	0.00	12款 地方交付税	1,567,168	25.51	6.74
	12款 公債費	500,583	8.15	13款 交通安全対策特別交付金	1,950	0.03	2.63
	13款 諸支出金	156,705	2.55	14款 分担金及び負担金	48,987	0.80	15.24
	14款 予備費	10,000	0.16	15款 材料及び手数料	79,713	1.30	10.12
合 計	6,142,412	100.0	16款 国庫支出金	454,095	7.39	△30.78	
性 質 別	人件費	1,408,625	22.93	17款 県支出金	215,556	3.51	24.81
	物件費	1,269,660	20.67	18款 財産収入	1,756,330	28.59	0.72
	扶助費	292,441	4.76	19款 寄附金	1	0.00	0.00
	補助費等	1,612,431	26.25	20款 繰入金	72,482	1.18	△52.65
	公債費	500,583	8.15	21款 繰越金	1	0.00	0.00
	投資的経費	608,756	9.91	22款 諸収入	233,438	3.80	△1.15
	その他の経費	439,916	7.16	23款 町債	201,600	3.28	△18.91
	予備費	10,000	0.16	歳入合計	6,142,412	100.0	△1.32
合 計	6,142,412	100.0					

### 特別会計及び企業会計予算

単位:千円

会計	年度	平成17年度	平成16年度	比較	伸び率(%)
国民健康保険事業特別会計		1,462,743	1,368,595	94,148	6.88
有線放送電話事業特別会計		27,765	23,760	4,005	16.86
老人保健特別会計		1,083,897	794,850	289,047	36.36
計		2,574,405	2,187,205	387,200	17.70
水道事業会計(支出)		397,927	379,595	18,332	4.83
屋嘉地区簡易水道事業会計(支出)		33,098	51,383	△18,285	△35.59
計		431,025	430,978	47	0.01

## キャンプ・ハンセン内の山火事に対する抗議決議全会一致で可決

4月4日から6日にかけてキャンプ・ハンセン内で発生した山火事を受け、4月11日に臨時会を開き、意見書、抗議決議、要請決議をそれぞれ全会一致で可決し、関係機関へ強く抗議、要請を行った。

### キャンプ・ハンセン内の山火事に対する抗議決議

平成17年4月4日金武町のキャンプ・ハンセン内レンジ2付近で不発弾による原野火災が発生した。焼失は、約180haに及ぶ膨大な面積であり復帰後3番目に大きく、今年3月以降に3件目である。この様な火災は、復帰後380件を数え、頻繁に発生している。2昼夜に跨る火災は、町民を極度の恐怖と不安に陥れた。のみならず、生態系を破壊し緑の再生は愚か赤土に因る金武湾の汚染が現実のものとして迫ってきている。

金武町議会は、キャンプ・ハンセン内の火災をはじめ、基地から派生する事件・事故に対して再三、抜本的対策を要求して厳しく抗議を繰り返して来たいきさつがある。しかしながら現実には旧態依然のままであり、馬の耳に念仏である。

平成9年9月18日には民間地域への延焼を防ぐため、金武地区消防から、消防車が出動している。この年12月9日には14件目の発生であり、復帰後135件を数える。今回、金武地区消防本部は、民間地域への拡大を恐れて消防車を、出動させ警戒した。しかし、町民の不安を払拭するものではない。仏の顔も三度まで、米軍及び政府の無神経さに怒りが増幅するだけである。米軍及び政府は、町民に忍従を強いることなく、直ちに原因の除去に努め、実効性のある対策を講じ、基地被害に喘ぐ町民に真摯に応える責務がある。

よって、本町議会は、町民の生命・財産、自然環境を守る立場から、渾身の怒りを込めて抗議し、下記事項の早期実現を強く要求する。

#### 記

1. 火災の原因を明確にすること
1. 消火体制を徹底すること
1. 山林原野の緑の再生に特段の努力をすること
1. 不発弾を撤去すること
1. 上記4項目に対し文書で2005年5月末日まで回答すること

平成17年4月11日  
沖縄県金武町議会



各決議文のあて先は次のとおり

意見書：内閣総理大臣、外務大臣、防衛庁長官、防衛施設庁長官、特命全権大使（沖縄担当）、那覇防衛施設局長

抗議決議：駐日米国大使、在日米軍司令官、在沖米国総領事、在沖海兵隊バトラー基地司令官

要請決議：沖縄県知事、沖縄県議会議長



## 暫定使用に対する抗議決議

キャンプ・ハンセン内の都市型訓練施設移転問題で、5月16日に臨時会を開き、米軍が求めているレンジ4での暫定使用に反対する意見書、抗議決議及び要請決議をそれぞれ賛成多数で可決し、5月17日、19日、20日の3日間の日程で関係機関へ決議文の手交を行った。

米軍に対しては、暫定使用の撤回、レンジ4、5Fの演習場廃止、レンジ4に建設された施設の即時解体・撤去を求めた。

### 都市型訓練施設の暫定使用に対する抗議決議

本町伊芸地区のレンジ4に於いて、米国陸軍により建設が行われている「都市型訓練施設」は、住民の生活圏から至近距離にありその施設の建設に対しては、今日まで述べ1万人が「建設反対」を訴えて、早朝の抗議行動を継続している事は、広く本町民の認知するところである。

しかしながら、訓練施設はほぼ完成しており、今、現実の問題として、実弾訓練に伴う住民への危険が目前に迫り、嫌がおうにも“恐怖心”が地域住民の生活に重くのしかかり、ストレスの増大は顕著である。

本町は従来より「キャンプ・ハンセン内の基地施設強化」につながる行為に対しては、決して「認めることができない」旨の決議を繰り返し、米国政府に訴えてきた経緯がある。今回のレンジ4での都市型訓練施設に対しても「伊芸地区の基地の返還」を本町議会に於いて全会一致で決議し、米国政府に訴えてきた。

これらの経緯から日米両政府は、訓練施設の移設を合意するに至ったが、米国から提示された、実弾による「暫定的な使用」に対しては、住民の声を踏みにじり、訓練施設移設の条件にする事に対して、さらなる怒りがこみ上げてくるものである。移設自体、伊芸地区の住民にとっては必ずしも納得の行く解決策には至らないものの、危険を回避するという最低限の目的が達成されると言う認識であった。にもかかわらず、レンジ4の危険な施設を使用することは、米国政府の良識が疑われる行為で、断じて許されるべきものではない。

「危険」と言う事を認識したからこそその、移設では無かったであろうか。暫定的に使用する事はなんら、住民の不安を払拭出来ないばかりか、怒りを更に増大する結果となる。

よって、本町議会は町民の生命・財産、生活環境を守る立場から「暫定使用の撤回」「レンジ4、5Fの演習場の廃止」及び、「レンジ4に建設された都市型訓練施設の即時解体及び撤去」を要求する。

以上、決議する。

平成17年5月16日

沖縄県金武町議



各決議文のあて先は次のとおり

意見書：内閣総理大臣、外務大臣、防衛庁長官、防衛施設庁長官、特命全権大使（沖縄担当）、那覇防衛施設局長

抗議決議：駐日米国大使、在日米軍司令官、在沖米国総領事、在沖四軍調整官

要請決議：沖縄県知事、沖縄県議会議長

# 一般質問



神里 幸雄 議員

## 少子化について

本町の少子化の現状は

町長 十年間横這い

神里議員 少子化が深刻な社会問題となっているが本町の現状は。

町長 昭和五十年の四歳児以下の児童数は、千六十二人で平成七年には五百四十二人となっており、平成七年度以降この十年間は横這い状態である。

神里議員 国では、少子化対策の一環として保育所の待機児童セロ作戦、児童手当の支給対象の拡大を図っ

ているが、本町の少子化歯止め策は？

町長 これまで子育て支援の一環として、乳幼児医療費助成事業の拡充、町立保育所の充実、母子保健事業、子供の健全育成環境の形成等に関する事業を実施してきた。今後も支援事業を充実し、少子化対策に取り組んでいく。

神里議員 現在、保育所の待機児童数は？

保健福祉課長 現在ゼロである。

神里議員 少子化が進んだ場合、人口が減少すると同時に、高齢化が進むことによつて若者へ経済的負担が重くなるが、町長は少子化をどう認識しているか。

町長 平成十六年度中に策

定される次世代育成行動計画等に基づき、関係機関団体等との連携のもと、諸事業を実施し活力ある地域づくりに取り組んでいきたい。

## 学校の安全対策について

学校内の危機管理体制は

確立しているか

教育長 訓練等を実施

神里議員 全国的に学校内における殺傷事件が相次いでいるが、危機管理体制はどうなっているか。

教育長 全職員の間通理解

のもと、危機管理マニュアルを作成し、緊急時に対応する体制をとり、児童生徒職員による不審者侵入に関する訓練等を実施している。

神里議員 嘉芸小学校は集

落から離れ、事件・事故の危険性が心配されるが、安全対策はどうなっているか。

教育長 高学年の児童が班长となつての団体登校、下校時は、校長、教頭が校門前で巡視を行っている。地域の方とは情報交換を行い、緊急事態発生時の連絡体制確立のため、伊芸・屋嘉両区の関係者、学校関係者で協議を行っている。



不審者侵入訓練 (金武小学校)

## その他質問事項

・雇用対策について

二十八日に沖縄県北部地区合併調査研究会を設置し、平成十六年二月二十七日までに六回開催、内容は財政産業、公共施設整備状況等を調査、報告をしているがその後の進展はない。

東議員 合併と関連した本

町財政の将来予測は。

町長 地方交付税等が減少傾向にあり、財政事情は厳しくなると予測され、今後、行財政改革等を行い安定的な財政運営に努めていく。

## 市町村合併について

公有財産に対する

権利と利益の保全是

町長 条例規定のとおり

今後も堅持

東議員 市町村合併に関するこれまでの協議、検討、調査の経緯と結果は。

町長 平成十五年十一月

**東議員** 合併に関連して、旧慣条例で定める公有財産に対する権利と利益の保全についての基本方針は。

**町長** 町公有財産の各財産管理会等への権利等については、条例規定のとおり今後も堅持していく。

**農業振興計画と後継者育成及び農業生産の向上について**

**農業後継者育成のため**

**の行政指導・支援は**

**町長** アドバイザーを配置し、指導を行っている

**東議員** ①中核的農業後継者育成のための行政指導と行政支援について。

②基本構想中で定めた農業生産振興基本方針と達成状況について。

**町長** ①行政支援として、十五年度より農業アドバイザーを配置し、農業技術指導について複式簿記、パソコン講習会、経営改善計画書の作成指導を実施。行政支援策として、農業青年ク

ラブ、認定農業者連絡協議

会等の組織育成と農業経営者及び生産技術向上のため、先進地研修等を実施している。

②平成十二年度から目標年次を平成十六年度として策定している。主要策目の達成状況は、サトウ



前田 修 議員

**駐留軍等労働者募集について**

**の応募者数は**

**町長** 二百九十五人以上の応募があった

**前田議員** 五月と十一月の

応募者数は何人か。また、男女別、職種、職場は。

**町長** 役場から申込書を受け取った方が二百九十五人であった。一昨年からインターネットでの応募が可能

キビ四十六・八%、水稻

九十・〇%、田芋九十五・二%、パイン十八・六%、マングー四十一・四%、花卉五十二・四%である。今後、

目標値に近づけるよう栽培指導や優良品種の導入等を推進していく。

となっており、それ以上の人数が応募していると考えられる。十六年度における

金武町在住の就職者は八人で、キャンプ・ハンセンへ

男三人、女一人の計四人が主な職種はフードワーカーとして採用となった。キャンプ・ハンセン採用以外の

四人については、確認できなかった。

**前田議員** 五月に応募した

人は、十一月の応募対象から外されているが、採用漏れの人は拾い上げることはできないか。

**町長** 定期募集については

**児童公園の遊具設置について**

**児童公園への**

**遊具の設置は**

四月二十日から五月三十一日までとなっており、翌年の五月三十一日まで有効期限となっている。追加募集については十月二十日から十一月十九日までとなっており、翌年の五月三十一日まで有効期限となっているので、四月、五月に応募された方は十一月に応募する必要があります。

**町長** 各区と調整・検討する

**前田議員** 町内の児童公園は遊具が乏しく、遊び場と



山城 清盛 議員

して殺風景で魅力もないとの声がある。安全な資材を使った遊具を設置するか

バスケットリングを設置するなどの方法はあるかと思うが。

**町長** 現場踏査を実施するとともに、各区と調整しながら検討していく。



**芸術文化の振興について**

**十七年度予定の**

**芸術文化事業は**

**町長** 町民・学校を対象とした音楽祭

**山城議員** 施政方針に於いて優れた芸術や伝統芸能を



鑑賞する機会を提供し、文化活動の活性化と振興に努めるとあるが、継続して実施している鑑賞公演は。

町長 昭和六十一年から学校を対象に、青少年小劇場を開催するとともに、平成六年度からは町内外の伝統芸能保存会を招聘し、民俗芸能祭を実施している。

山城議員 町民の芸術文化に対する理解と親しむ機運をどう高めているか。

町長 町文化協会による作品展・発表、公民館講座、サークル等の作品発表を公民館、役場を始め、各金融機関等へ展示すると共に活動場所の提供を行っている。山城議員 自主事業への財政的支援を行う文化庁提供事業、沖縄県提供事業を積極的に活用しているか。また、十七年度予定の鑑賞事業は。

町長 文化庁主催事業である九州民俗芸能大会へ平成

十六年度沖縄県代表として、伊芸区の南又島が出演しております。十七年度予定の鑑賞事業は、町民及び学校を対象とした音楽祭を予定している。



伊芸区南又島

中央公民館の活用について  
十六年度の公民館講座の受講者数は

教育長 延べ四千四百十九名

山城議員 十六年度の講座数と受講した町民の人数と講師の町内・町外の割合は。教育長 講座数は三十六講座、受講者数は延べ四千四百十九名である。講師は町内十三名、町外十八名であ

る。

山城議員 文化活動の拠点としての位置づけについて具体的に。

教育長 各種講座、各地区



宜野座 栄 議員

ギンバル訓練場跡地利用計画と可能性について

町長 ギンバル訓練場跡地利用の事業可能計画は。

宜野座議員 第三次金武町総合計画、ふるさとづく

り整備事業、北部振興に関する金武町主要振興事業等、いろいろな事業が計画され、なかなか前進をみないが、事業可能な計画と進捗率は。町長 第三次金武町総合計画においては、長期滞在及び定住型施設の整備、ふる

公民館サークル等、積極的に活用されており、生涯学習の拠点として位置づけている。

山城議員 オープン二十周

さとづくり整備事業におけるアンケート結果においては、宿泊施設、熱帯果樹園、教育施設等の整備要請があり検討している。事業可能な計画としては、先端医療施設としての健診・治療等施設を始め、リハビリ関連施設、保養リゾート関連の長期滞在施設、健康関連のバイオ研究、生産施設等であり、ふるさとづくりのコンセプトであるウェルネスの里にふさわしい事業者とな

なっている。

宜野座議員 ギンバル入口、軍用道路の問題解決は。

町長 米軍、那覇防衛施設局等と協議してきたが、整備には返還が前提条件となっており、返還に合わせ

準備計画を行っていく。



ギンバル進入路

サーター車の件について

町長 サーター車の展示・保存は価値の高いものと考えられるが、価値のあるものだと考える。

宜野座議員 サーター車は、歴史的に果たしてきた役割は大きい。サーター車の展示・保存は教育的・文化的にも価値の高いものと考え

るが、町長はどうとらえて  
いるか。

**町長** 昔から、沖縄農業に  
対して果たしてきた役割は  
大きい旨があると認識して  
おり、児童生徒の学習の面  
からも価値のあるものだと  
考えている。

**宜野座議員** 町まつりへの  
協力者に対して、行政は誠



仲間 清 議員

**行政施設等の状況について**

行政施設が散在  
しているが改善策は

**町長** 行財政需要等を  
勘案し検討

**仲間議員** 行政施設等が散  
在し、町民へ不便と負担を  
きたしている状況にあるが、  
どの様に認識し、改善策に  
ついて伺いたい。

**町長** 行政施設については、

意をもって感謝と指導、支  
援が必要であると考えるが、  
どの様な認識をもっている  
か。

**町長** 町まつり協力者へは  
感謝している。指導支援に  
ついては個人にかかる問題  
であり、町としては対応で  
きない。

一カ所に集中するのが望ま  
しいと思っている。それに  
は、財政面と経費的に大き  
な課題であるため老朽化に  
伴う改築時期等の施設につ  
いては、各種事業との行財  
政需要等を勘案しながら検  
討していく。

**街灯設置について**

嘉芸小から屋嘉十四班

向け国道沿いに

街灯設置を

**町長** 十七年度で対応

**仲間議員** 嘉芸小学校から  
屋嘉十四班までの国道沿

いこの区間は、日常生活道路  
としても利用されているが、  
街灯がなく危険な状況であ  
る。事件・事故の発生が懸  
念され、早急に街灯設置を  
求めたいが。

**町長** 同区間は、平成十七  
年二月に沖縄電力の電柱に  
五基設置している。残りの  
分については、十七年度で  
対応したいと考えている。

**その他質問事項**

・屋嘉区簡易水道事業によ  
る生活飲料水の安定供給  
について



外間 現一郎 議員

**行政運営方針**

中川区への補助金について  
見直しの時期だと思ってい  
ます。

**町長** 適正化条例に基づき  
考える。

**外間議員** 中川区自治会育

成補助金について、昭和六  
十年に軍用地のアップ率に  
より交付するという協定が  
交わされているが、二十年  
が経過し見直しの時期だと  
思うが。

**町長** 中川区への補助金は、  
補助金の適正化に関する条  
例に照らした場合、必要経  
費について補助すべきとい  
う観点から、平成十二年よ  
り、改定分の計上はおこな  
わず、現在の補助金の状況  
となっている。今後も適正  
化条例に基づき考えていく。

**交通安全対策について**

発電所通りへの  
信号機の設置は



知名 達也 議員

**町長** 再度要請する

**外間議員** 発電所通り一帯  
は、五百戸以上の住宅街、  
新開地に入居する方、発  
電所従業員(関連業者含む)  
の往来等、幹線道路である  
ことから、信号機・横断歩  
道の設置が長年の懸案事項  
であり、急を要するが。

**町長** 平成十四年一月と  
十七年一月に、石川警察署  
へ信号機の設置を要請して  
いるが、現時点において設  
置に至っていない。県警本  
部での設置検討箇所となっ  
ているので、再要請してい  
く。

**都市型訓練施設建設**

反対の要請について

都市型建設

反対要請の反応は

**町長** 解決へ向けて  
努力するとの回答

**知名議員** 三月七日から八  
日に町実行委員会が建設反



対署名を携え、要請を行った際の内容と、外務省、防衛施設庁の反応は。

**町長** レンジ4は伊芸区の住宅地域に近く、過去に流弾・被弾事故が発生しており、これ以上の基地負担は限界であると訴えた。町村外務大臣、山中防衛施設庁長官とともに、現在、米国と交渉中であり問題解決に向けて努力していると述べていた。

**基地の機能強化について**

**都市型の移設打診が**

あれば受け入れるか



伊藝 武吉 議員

**レンジ4陸軍複合射撃訓練場建設について**

**都市型建設に対する**

今後の取り組みは

**町長** 今の段階では判断できない

**知名議員** 新聞紙上でキャンプ・ハンセン内の別地点へ都市型訓練施設を移設、検討中とあるが、打診された場合、受け入れる考えは。  
**町長** 移設について打診がありませんので、町としての段階では判断できない。  
**その他質問事項**  
・米軍基地負担の軽減について  
・平和行政について

**町長** 建設反対を訴え続ける

**伊藝議員** ①日米両政府の動向、方針、状況等の情報把握について。  
②同施設建設に対して、町長の今後の取り組み及び政治姿勢について。  
③同施設建設現場の状況及び建物の位置、配置形成に

ついて。

**町長** ①町実行委員会が上京して要請を行った際、外務大臣・防衛施設庁長官はともに米軍と交渉中であり、問題解決に向けて努力していると述べていた。  
②今後とも日米両政府の動向を見ながら同施設の建設反対を訴え続けて行く。  
③建設現場の状況、建物の位置、配置については、政府からの説明は受けられない方針があるため、詳細については把握していない。



早朝抗議行動

**キャンプ・ハンセン内の基地機能強化について**

**町長** 今後の基地諸問題、在日米軍再編への取り組みは

**町長** レンジ移転を県へ働きかけている

**伊藝議員** 地元町民が知らぬ間に、次々とキャンプ・ハンセン内射撃場は基地機能が集中的に強化されつつ



仲間 政治 議員

**個人情報の適正な取扱について**

**町長** 区民台帳の基になる資料提供の今後の対応は

**町長** 閲覧制度で対応

**仲間議員** 各区との関係において、個人情報住民課を通して流され、区民台帳の作成に有力なものとなつ

あるが、町長はどの様に対応、施策、今後の基地諸問題、在日再編への取り組みについての施政を伺いたい。  
**町長** 米軍再編に伴う基地負担軽減等については、各レンジで実施されている実弾射撃演習の頻度を減らすと同時に住宅地域から離れた場所へのレンジ移転を県へ働きかけている。

ている。現在、各区から各班長へ流されている事実があるが、今後の対応は。

**町長** 個人情報保護法が四月一日から施行されることに伴い、これまで行っていた月々の異動者名簿の提供が困難となる。今後は、住民基本台帳法第十一条の閲覧制度で対応していく。

**都市型訓練施設建設中止について**

代替案はあるか

**町長** 検討していない

仲間議員 今日まで反対運

動を展開している中で、しばしば手応えを感じさせる発言は、根拠があつてのことか。また、今後中止のみを訴えるのか、他に代替案があるのか。

町長 これまで政府高官は、問題解決に向けて努力する旨の発言があつた。先日、町実行委員会が上京し



嘉数 義光 議員

水産業振興対策について  
経営アドバイザー・

町長 技術指導員の配置は  
漁協と調整・検討

嘉数議員 ①施政方針に魚類養殖試験施設を活用し、養殖技術研究に努めるとあるが、経営アドバイザー・技術指導員を配置する考えは、

た際、外務大臣・防衛施設

庁長官とともに、米国と交渉中であり解決に向け努力しているとの回答であつた。代替案については、検討していない。

その他質問事項

・廃棄物処理場建設と地域との合意形成について  
・情報公開について  
・軍用道路の側溝について

町長 ②現在、仮施設で海ぶどう養殖を試験栽培している魚家がいるが、仮施設は軽量資材で強風のたび手直しが行われており、施設の建設が必要だと思うが、その計画は。

町長 ①魚家の養殖技術向上を図るため、スギ、タマン、ヤイトハタなどの養殖を実施し、配置については県の指導を受けながら漁協と調整し、検討していきたい。

②敷地は県管理であるため、建設は港湾法に抵触するた

め許可されておらず、現在は一時的な利用として使用している。敷地が利用できるときの要請し、今後は技術確立がされれば、県補助事業を導入し建設を漁協と調整しながら検討していきたい。

文化行政について

文化資料の収集目的は

教育長 保存・展示を目的としている

嘉数議員 ①町民から寄贈等のあつた文化資料は何点か。②収集の目的は。③収集した資料は保存だけでなく、定期的な展示事業もすべきでは。

教育長

町長 ①約二千点です。②貴重な歴史的資料として、保存、展示を目的としている。

③町資料展示室においては常設展示を行い、年度内に収集した資料は町まつりで展示をしている。

その他質問事項

・ふるさとづくり整備事業



小波津 隆 議員

ホームページについて

ホームページの運用・管理の改善へ向けた進捗状況は

町長 各課で更新できるシステムを考えたい

小波津議員 本町ホームページのその後の運用、管理の改善に向けた進捗状況は。町長 これまで、ホームページの担当者が更新を行っていたが、各課との調整関係で更新が遅れがちであったが、その後、職員の協力が得られるような連絡体制を図った結果、日程表、行事予定、お知らせ等について早く更新が行えるようになった。改善については、

今後は、各課で更新出来る

について

・生涯学習について

議会広報について

一般質問等のネット検索サービスを導入しては

総務課長 検討する

小波津議員 議会の一般質問等をネットで検索するサービスを本町でも導入しては。

町長 議会事務局の事務分掌であると考えますが、隣村では議会事務局へ予算計上し、一般質問等のサービスを行っているような状況である。

小波津議員 導入できる素

地はあると考えていいか。総務課長 町長あるいは議会と相談しながら進めていく方向の検討はやっていきたい。

その他質問事項

・教育行政について

## 平成17年第3回定例会 附議案件処理結果

議案番号	件名	議決結果
議案第8号	平成17年度金武町一般会計予算	原案可決
議案第9号	金武町財政調整基金の処分について	原案可決
議案第10号	平成17年度金武町有線放送電話事業特別会計予算	原案可決
議案第11号	金武町有線放送電話事業財政調整基金の処分について	原案可決
議案第12号	平成17年度金武町国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議案第13号	金武町国民健康保険事業財政調整基金の処分について	原案可決
議案第14号	平成17年度金武町老人保健特別会計予算	原案可決
議案第15号	平成17年度金武町水道事業会計予算	原案可決
議案第16号	平成17年度金武町屋嘉地区簡易水道事業会計予算	原案可決
議案第17号	金武町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	否 決
議案第18号	金武町教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について	否 決
議案第19号	金武町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	否 決
議案第20号	金武町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第21号	金武町農業委員会の委員の定数及び選挙に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第22号	金武町情報公開及び個人情報保護制度審議会設置条例を廃止する条例について	原案可決
議案第23号	金武町課設置条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第24号	職員の懲戒の手續及び効果に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第25号	沖縄県市町村自治会館管理組合を組織する市町村の数の減少について	原案可決
議案第26号	金武町青少年問題協議会条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第27号	災害弔慰金の支給等に関する条例を廃止する条例について	原案可決
議案第28号	平成16年度金武町一般会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第29号	平成16年度金武町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第30号	平成16年度金武町老人保健特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第31号	平成16年度金武町有線放送電話事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決



議案番号	件名	議決結果
議案第32号	金武町道路線の廃止について	原案可決
議案第33号	沖縄県介護保険広域連合規約の変更について	原案可決
議案第34号	重要な公の施設の長期独占的な利用について	原案可決
議案第35号	沖縄県町村土地開発公社定款の一部改正について議会の議決を求める件	原案可決
議案第36号	沖縄県介護保険広域連合の財産処分に関する協議について	原案可決
承認第1号	専決処分の承認について	承認
決議第2号	県立北部病院における医療体制の強化に関する要望決議	可決

## 議会傍聴のご案内

町議会の本会議は公開されています。議員がどのような会議を行い、町政がどのように進められているかなど町議会の実際を知ることが出来ます。町民多数の傍聴をお待ちしております。

**本会議** ……どなたでも傍聴できますが、固定傍聴席（30席）の関係から制限されることがありますので、ご了承下さい。

**委員会** ……委員会の傍聴は、条例により委員長の許可を得た者が傍聴できることとなっています。傍聴を希望される方は、事前に委員長の許可が必要です。議会事務局まで申し出て下さい。

### 年別傍聴人数

	傍聴者数
平成13年	31人
平成14年	43人
平成15年	56人
平成16年	54人
平成17年	13人

※17年は5月までの傍聴者数

### 人事異動



4月1日付けで人事異動があり、島袋圭一郎の後任として、上江洲誠が配属になりました。

氏名	新所属課	旧所属課
島袋 圭一郎	住民課	議会事務局
上江洲 誠	議会事務局	住民課